

授業科目名	保育実習Ⅲ		担当教員名	入江 実
必修/選択	選択(保育士資格)	開講学年・学期	期間 期間 (※令和2年度 開講なし)	
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位	
施行規則に定める科目区分等	保育実習	授業方法/担当形態	実習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の到達目標	1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする (1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 (2)実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする			
授業の概要	「保育実習Ⅲ（施設実習2単位）」は、保育実習Ⅰの福祉施設実習の経験に基づいて、発達障害施設の実習を中心に利用されている方の処遇や援助の方法並びに、記録の取り方などを学習し福祉の課題を考える。			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）、「月間 保育とカリキュラム」（ひかりのくに）			
成績評価の方法	事前の書類（オリエンテーション報告書等）提出の状況、実習中の状況（巡回指導時の状況も含む）、実習への出席状況、実習先からの実習評価、実習の記録の提出、事後に必要な書類提出（欠席届等）の状況、実習の記録の記述内容を以下の通りに評価する。 福祉施設実習においては、実習園の評価点（65%）、事前指導、事後指導及び実習記録等の評価（35%）			
授業計画	授業の内容		到達目標番号	
第1回	○総合実習 (1)指導計画を立てる (2)保育目標に向かって、「ねらい」を確かめつつ、活動を展開する ○実施時期・期間：2年 10月・10日間 ○対象児：0～5歳児			
定期試験	定期試験は実施しない			